

# いちのみやの芸術文化

- 特集「一宮市の空襲被害」
- 役員紹介・加入団体一覧
- 加入団体の紹介
- これからの催し



2013.6

第25号

大乘公園にある空爆殉難記念碑

一宮市芸術文化協会

ICHINOMIYA Arts and Culture Association

「一宮市」には、一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館・一宮市尾西歴史民俗資料館など先人の残した文化を紹介する施設があります。私たちの「身近な文化」を学んでみませんか？

# 一宮市の空襲被害

## 戦局の悪化

昭和十六年（一九四一）十二月、日本海軍が、アメリカ海軍基地であるハワイ真珠湾を攻撃し、太平洋戦争が始まりました。当初は、日本が優位だった戦局も、長期戦になるにつれ、国力で勝るアメリカが、次第に日本を圧倒するようになりました。昭和十九年六月、アメリカ軍はサイパン島やグアム島など、マリアナ諸島に攻め込みました。マリアナ諸島は、日本本土防衛の最重要拠点でしたが、八月に陥落しました。マリアナ諸島に、アメリカ軍の広大な飛行場基地が整備され、そこから飛び立つ長距離爆撃機B29によって、日本本土への空襲

が、本格的に始まりました。当初、アメリカ軍は軍事施設を対象とした精密爆撃を行っていましたが、昭和二十年に入ると、無差別爆撃に方針を転換しました。三月には東京、名古屋、大阪などの大都市が、大規模な空襲を受けました。一宮市内でも、昭和二十年一月七日、旧尾西市の北今地区に焼夷弾数発が落とされ、民家など七軒が焼失しています。これは、北今地区を意図的に狙ったのではなく、どこかの都市を空襲した際、余った焼夷弾を投棄した時に、発生したものと考えられています。五月には、同盟国のドイツも降伏し、日本の勝利は絶望的という状況下でも、軍部は戦争の継続、本土決戦を主張し続けました。

六月に、沖縄本島が陥落すると、空襲は地方の中小都市にも拡がり、全国の都市が空襲を受け、一宮市街地を狙った空襲も二回ありました。一度目は七月十三日です。市街地を狙ったものの、目標が外れ、被害は今伊勢町、起町（三条地区）、葉栗郡など、広範囲に及びました。特に今伊勢町は死者二十名、全半焼家屋は六三〇軒に及ぶ被害を受けました。二度目は七月二十八日です。午後十時から翌午前二時までの間、数百機に及ぶB29は、市街地に焼夷弾を投下し、火の海の中を、婦人会や警防団等が必死の消火に努めました。真清田神社・国鉄尾張一宮駅・税務署・警察署・商工会議所などが焼失し、家屋は一万軒以上、市街地の約八割が焼失し、死者は六百人を超えました。

## 一宮市街地への空襲



当時を知る方の証言によると、激しい炎で空が真っ赤に染まり、市街地から離れた大和町馬引付近でも、熱風を感じることができたそうです。なお、市内の三条地区に

▼戦災で消失した常念寺(大江1丁目11番26号)  
一宮市立中央図書館蔵



▲空襲により焼け野原となった市内  
(本町通4丁目付近)  
一宮市立中央図書館蔵

はB29を撃ち落とすための高射砲陣地があり、三々四台の高射砲があったそうです。しかし、高射砲が命中することは、ほとんどありませんでした。

終戦間際には、既に日本近海に、アメリカ海軍の航空母艦(空母)が待機し、本土上陸を準備していました。空母から飛び立つ艦載機が、軍事施設だけでなく、鉄道や駅にも機銃掃射を行いました。東海地方でも、航空隊基地のあった各務原や多治見の太多線が銃撃されました。市内でも、起地区の宮田用水沿いにいたところ、突然、艦載機に銃撃されたという方もいます。銃撃の音と同時に、用水の水が跳ね上がり、急いで木のそばに隠れたそうです。

八月には、広島・長崎に原爆が投下され、ソ連が日本に宣戦布告したことから、日本政府は降伏をしました。市内では、空襲で亡くなった人だけでなく、異国の地で、戦死した郷土の兵士も多くいました。また、生き残った市民も、空襲により極度の窮乏生活を強いられました。しかし、そういった物資の欠乏している中、終戦直後の十月三日には、復興第一回の「三八市」が開かれるなど、市民の復興への意欲は、非常に高く、市が戦災復興事業に着手したときには、既に市内中心部に、仮設の商店が軒を

並べていたそうです。

市内の大乗公園には、空爆殉難記念碑があります。この碑の下には、戦災で亡くなった人の名を遺族が記した七百余の小石が、埋められています。そして、空襲で被害を受けた七月二十八日に、一宮市戦災遺族会により戦災死没者慰霊法要が、毎年執り行われています。



▲大乗公園にある空爆殉難記念碑  
(桜3丁目14番1号)

今年(2013年)は終戦から六十八年が経ちます。当時のことを知る人も少なくなりましたが、私たちは、戦争の悲惨さを風化させることなく、後世に伝えていくことが必要です。

一宮市尾西歴史民俗資料館

学芸員 宮川充史

【附記】本文の執筆に際し、貴重な証言をしていただいた方々に御礼申し上げます。

# 一宮市芸術文化協会役員

※5・6ページに加入団体一覧表を記載します。

役職名	氏名	備考
名誉会長	谷 一夫	一宮市長
顧問	林 英夫	元尾西市教育長
会長	加藤 昌義	同派会
副会長	不破 皓	尾西ウインドオーケストラ
会計	寺 西洋二	木曾川絵画同好会
監事	小島 祥子	一宮音楽家協会
	細井 進	神道一刀流剣詩舞会
	竹内 広	木曾川ライトソングクラブ

※左表は各部門選出の理事一覧表です。

文学部					部
詩部門	狂俳部門	川柳部門	俳句部門	短歌部門	部門
			○		部長
青木 小代子	後藤 富士雄	山田 忠雄	坂井 斉	山本 光位	氏名
一宮現代詩協会	一宮狂俳壇連盟	一宮川柳社	一宮市民俳句教室	真清短歌会	団体名

文社化部会			芸能部		音楽部						美術部					部		
社会文化部門	華道部門	茶道部門	芸能部門	舞踊部門	管弦楽部門	吹奏楽	器楽部門	声楽・合唱部門	吟剣詩舞部門	謡曲部門	邦楽部門	写真部門	書部門	彫塑部門	デザイン・工芸	洋画部門	日本画部門	部門
○			○					○								○		部長
柳原 たづ子	堀 美美子	岩田 宗晋	木全 修	佐々 智恵子	浅井 英仁		山中 貞雄	久野 以早夫	鎌田 猛	森 恒夫	小川 統山	安藤 治仁	岩田 澗流	鵜飼 辰郎		高山 悟	丹羽 桃慶	氏名
一宮アーティフィシャル フラワー協会	一宮華道連盟	茶道裏千家	一宮民俗芸能連盟	一宮舞踊協会	一宮市民吹奏楽団		旭雅楽会	一宮音楽家協会	一宮吟剣詩舞協会	竹石会	一宮三曲協会	一宮写真協会	公益社団法人中部日本書 道会 一宮支部	一宮美術作家協会 ／デザイン・工芸部・彫塑部		一宮美術作家協会 ／洋画部	桃墨会	団体名

# 加 入 団 体 一 覧

部	部 門	団 体 名	主 な 活 動 日 時 ・ 場 所
文学部	短歌部門	真清短歌会	毎月第2日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
		青の樹短歌会	毎月第1金曜日：午後1時30分～ 尾西生涯学習センター
	俳句部門	一宮市民俳句教室	毎月第4日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
		濃美一宮俳句会	毎月第4木曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
		北方俳句会	毎月第1水曜日：午後1時～ 北方公民館
		葉栗俳句教室	毎月第2火曜日：午後1時～ 葉栗公民館
		本町俳句会	毎週金曜日：午後1時～ 大志公民館
		ききょうの会	毎月第1・3木曜日：午後1時～ 大志公民館
		千秋老人俳句クラブ	毎月第1木曜日：午後1時～ 千秋公民館
		神山女性句会	毎月第1・3土曜日：午後1時30分～ 神山公民館
		浅井土筆句会	毎月第3木曜日：午後1時～ 浅井公民館
		尾西牡丹会	毎月第2土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター
		尾西句会	毎月第2金曜日：午後1時～ 尾西南部生涯学習センター、第3土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター
		尾西仏手柑句会	毎月第2日曜日：午後3時～ 応蓮寺
		一宮市尾西市民俳句会	毎月第2土曜日：午後1時30分～ 起つどの里、第3土曜日：午後1時30分～ 尾西歴史民俗資料館
	尾西新樹会	毎月第1月曜日：午後1時30分～ 尾西生涯学習センター	
	川柳部門	一宮川柳社	毎月第4日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
狂俳部門	一宮狂俳壇連盟	毎月第2土曜日：午後1時～ 葉栗公民館	
詩部門	一宮現代詩協会	事務局へお問合せください。	
	一宮漢詩瀟聲會	毎月第1火曜日・第4土曜日：午前10時～ 中央図書館	
美術部	日本画部門	一宮美術作家協会/日本画部	事務局へお問合せください。
		桃墨会	毎月第1・3水曜日：午前10時～ 尾西生涯学習センター、第2・4土曜日：午後2時～ 一宮スポーツ文化センター
	洋画部門	尾西作家協会	事務局へお問合せください。
		一宮美術作家協会/洋画部	事務局へお問合せください。
		尾西絵画クラブ	毎月第3土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター
		彩の会	毎月第1・3火曜日：午前9時30分～ 尾西生涯学習センター
		水絵の会	毎月第1・3金曜日：午前10時～、第2土曜日：午後1時～ 尾西南部生涯学習センター
		グループ絵どころ 三美会	年間約30回：1回2時間 三岸節子記念美術館
		楽しく描こう会	毎月第2・4土曜日：午前9時30分～ 尾西生涯学習センター
		尾西水彩画会	毎月第2・4土曜日：午前10時～ 尾西生涯学習センター
		ポピーの会	毎週水曜日 講師宅
		尾西ガリバンパンの会	毎月第2・4金曜日：午前10時～ 尾西南部生涯学習センター
		パレット会	毎月第2・4木曜日：午前10時～ 尾西南部生涯学習センター
		木曾川絵画同好会	毎月第2・4日曜日：午後1時30分～ 木曾川公民館北館
		ブルシャンプルー	毎月第1・3木曜日：午後1時～ 尾西南部生涯学習センター
		イエローオーカー	毎月第1・3土曜日：午前9時30分～ 尾西南部生涯学習センター
		山ぶどうの会	毎月第2・4木曜日：午前9時30分～ 一宮スポーツ文化センター
		土筆の会	毎月第1・3火曜日：午前9時30分～ 一宮スポーツ文化センター
		いぶき	毎月第2・4月曜日：午後1時30分～ 尾西生涯学習センター
		タンポポの会	毎月第2・4火曜日：午前10時～ 尾西生涯学習センター
	あざみの会	毎月第1・3水曜日：午前9時～ 一宮スポーツ文化センター	
	花畑	毎月第2水曜日：午前9時30分～ 北方公民館	
	四季の風	毎月第1・3月曜日：午前10時～ 尾西生涯学習センター	
	デザイン・工芸彫塑部門	一宮美術作家協会/デザイン・工芸部・彫塑部	事務局へお問合せください。
		陶順会	毎週月・火・金・土曜日：午前9時～ 朝日老人福祉センター
		楽陶会	毎月第1・3木曜日：午後1時～ 講師宅
		美省会	毎月第3日曜日：午前9時～ 講師宅
		尾張もめん伝承会	毎月第4日曜日：午後1時30分～ 産業体育館
	書部門	尾西面打会	毎月第1・3土曜日：午前9時～ 尾西グリーンプラザ
		一面会	毎月第2・4土曜日：午前10時～ アイブラザー宮
		公益社団法人中部日本書道会 一宮支部	事務局へお問合せください。
	写真部門	麗筆会	事務局へお問合せください。
		日中古墨書道友好協会尾張支部	毎週水曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
音楽部	邦楽部門	一宮三曲協会	事務局へお問合せください。
		三山会	毎週土曜日：午後2時～ 講師宅
		里音会	毎週土曜日：午後3時～ 金剛幼稚園
		すみれ箏の会	(随時) 講師宅
		美友会	(随時) 講師宅
		藤乃会 尾西教室	(随時) 講師宅
		尾西三味線薫世智会	毎月第1・3木曜日：午前9時30分～、第2・4木曜日：午前11時～ 小信中島つどの里
津軽三味線恋糸	(随時) 講師宅		

部	部 門	団 体 名	主 な 活 動 日 時 ・ 場 所	
音 楽 部	謡 曲 部 門	相 生 ・ 中 日 文 化 会	毎月第2・4木曜日：午後6時～ 名鉄百貨店一宮店	
		い づ み 会	毎週土曜日：午後1時～ 奥公民館	
		竹 石 会	毎月第1・3金曜日：午後1時～ 真清田神社	
		誠 諷 会 ・ 緑 風 会	毎月第1・3水曜日：午後1時～ 島村公民館、第2・4月曜日：午前9時30分～ 河端公民館、第2・4金曜日：午後1時30分～ ききょう会館	
		清 宵 ・ 蘇 水 会	毎週月曜日：午後1時～ 宮西公民館	
		丹 謡 ・ 萩 謡 会	毎週土曜日：午後6時30分～ 丹陽公民館	
		紅 韻 会	毎週月・木・土曜日：午前10時～ 講師宅	
	吟 剣 詩 舞 部 門	一 宮 吟 剣 詩 舞 協 会	事務局へお問合せください。	
		雅 芳 流 嶋 邦 吟 詠 会	毎週金曜日：午後7時～ 尾西生涯学習センター、土曜日：午前10時～ 尾西文化広場	
		神 道 一 刀 流 剣 詩 舞 会	毎週木曜日：午後6時30分～ 金曜日：午後1時30分～ 小信中島つどの里、第4土曜日：午後7時～ 尾西生涯学習センター西館	
		剣 詩 舞 道 柳 翠 会	毎週水曜日：午後1時～ 小信中島つどの里、金曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター 他	
	声 楽 ・ 合 唱 部 門	山 瑩 会	週1回 山瑩会教室 他	
		一 宮 音 楽 家 協 会	事務局へお問合せください。	
		一 宮 合 唱 協 会	事務局へお問合せください。	
		一 宮 第 九 を う た う 会	毎週火曜日：午後7時～ カトリック一宮教会	
		尾 西 混 声 合 唱 団	月3回 土曜日：午後7時～ 尾西生涯学習センター西館	
		女 声 合 唱 団 蓮	毎週土曜日：午後1時30分～ 尾西生涯学習センター西館	
		民 謡 長 澤 会	(随時) 講師宅	
	器 楽 部 門	佳 富 士 会	毎月第2・4日曜日：午後7時～ 尾西生涯学習センター	
		尾 西 民 謡 薫 世 智 会	毎月第4木曜日：午後7時～ 小信中島つどの里	
		琴 伝 流 大 正 琴 琴 稀 会	月4回 金・土曜日：午後1時～ 尾西文化広場、月3回 火曜日：午後1時～ 産業体育館	
		琴 伝 流 大 正 琴 琴 女 会	毎週火・金・土曜日：午前10時～ 開明老人いこいの家 渡由宅 他	
		琴 生 流 大 正 琴 さ つ き 会	毎月第2・4土曜日：午前10時～ 尾西生涯学習センター	
		清 の 琴 ・ ロ マ ン ス ハ ー プ	隔週火・木曜日：午前9時～ 尾西南部生涯学習センター、毎週木曜日：午前9時～ 隔週土曜日：午後1時～ 玉野つどの里	
		安 美 & コ ン プ リ オ	事務局へお問合せください。	
		木 曾 川 ラ イ ト ソ ン グ ク ラ ブ	毎月第1・3土曜日：午後7時～ 木曾川公民館	
		琴 生 流 大 正 琴 藤 明 の 会	毎月第1・3火曜日：午後1時30分～ 一宮スポーツ文化センター	
		旭 雅 楽 会	毎月1、15、28日及び第2・4日曜日：午後6時～ 講師宅	
		吹 奏 楽 ・ 管 弦 楽 部 門	一 宮 市 民 吹 奏 楽 団	毎週土曜日：午後5時～ 一宮スポーツ文化センター
	尾 西 ウ ィ ン ド オ ー ケ ス ト ラ		毎週日曜日：午後5時～ 尾西生涯学習センター西館	
	一 宮 シ テ ィ ー 室 内 管 弦 楽 団		毎月第2土曜日：午後6時30分～ 中日新聞一宮支局、第4日曜日：午後1時30分～ 大森石油練習場	
	芸 能 部	舞 踊 部 門	き そ が わ ポ ッ プ ス バ ン ド	毎月第2～5日曜日：午後5時30分～ 木曾川公民館
			一 宮 舞 踊 協 会	事務局へお問合せください。
			ハ ワ イ ア ン ・ フ ラ	毎週火曜日：午前9時～、水曜日：午後5時～ 尾西生涯学習センター西館
			新 舞 踊 あ す か 会	毎週水曜日：午後7時～ 起つどの里
			坂 東 流 百 喜 久 会	毎週火曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター
			百 の 会	毎週土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター
		芸 能 部 門	扇 寿 々 会	毎週月曜日：午前9時30分～ 木曜日：午後5時30分～ 向山公民館
			芳 美 会	毎週月曜日：午前9時30分～ 土曜日：午後1時～ 向山公民館
			一 宮 民 俗 芸 能 連 盟	事務局へお問合せください。
			同 派 会	事務局へお問合せください。
	社 会 部	茶 道 部 門	弥 生 会	事務局へお問合せください。
茶 道 表 千 家			事務局へお問合せください。	
茶 道 裏 千 家			事務局へお問合せください。	
表 千 家 尾 西 玉 香 会			月3回 火曜日：午後2時～ 講師宅、金曜日：午後1時30分～ 尾西生涯学習センター	
尾 西 表 千 家 木 野 ( 文 ) 会			月3回 土曜日：午後2時～ 講師宅	
尾 西 緑 寿 会			月3回 金曜日：午後4時～、土曜日：午後1時30分～ 講師宅	
尾 西 清 真 会			毎月第2・4水曜日：午後5時～ 講師宅	
表 千 家 尾 西 古 田 社 中			毎週月曜日：午後6時～ 尾西生涯学習センター、土曜日：午後2時～ 講師宅	
裏 千 家 尾 西 杉 本 社 中			毎週月・水曜日：午後7時～、土曜日：午前10時～ 講師宅	
松 風 会			毎週水曜日：午後5時～ 講師宅	
裏 千 家 白 河 社 中			毎週土曜日：午後2時～ 午後6時～、日曜日：午後2時～ 講師宅	
裏 千 家 住 田 社 中			毎週月曜日：午前10時～ 午後6時～、木曜日：午前10時～、金曜日：午後5時30分～、土曜日：午前10時～ 午後4時～ 講師宅	
華 道 部 門			一 宮 華 道 連 盟	事務局へお問合せください。
			池 坊 尾 西 玉 香 会	月3回 火曜日：午後2時～ 講師宅
		尾 西 小 原 流 寛 社 中	月3回 金曜日：午後4時～、土曜日：午後1時30分～ 講師宅	
		尾 西 池 坊 木 野 ( 文 ) 会	月3回 土曜日：午後2時～ 講師宅	
		小 原 流 尾 西 古 田 社 中	毎週金曜日：午前10時～ 土曜日：午後2時～ 講師宅、金曜日：午後6時～ 尾西生涯学習センター	
		尾 西 花 紘 会	毎月第4月曜日：午前10時～ 尾西生涯学習センター	
		社 会 文 化 部 門	一 宮 ア ー テ ィ フ ィ シ ャ ル フ ラ ワ ー 協 会 鶴 の 会	毎週火曜日：午前10時～ 一宮スポーツ文化センター
一 宮 ア ー テ ィ フ ィ シ ャ ル フ ラ ワ ー 協 会 風 雅 の 会			毎月第2・4火曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター	
一 宮 ア ー テ ィ フ ィ シ ャ ル フ ラ ワ ー 協 会 彩 華 の 会			毎月第1・3火曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター	
歌 楽 会	毎月第3日曜日：午後7時～ 代表者宅			
		若 芽 会	月2回 (不定期)	

# いちのみや文芸 2013 作品募集

## 1、募集種目

- ① 随想・随筆 一人一編  
(本文は、4000字詰  
原稿用紙3枚以内)
- ② 現代詩 一人一編  
(本文は、4000字詰  
原稿用紙3枚以内)

- ③ 漢詩 絶句、一人2首以内
- ④ 短歌 一人8首以内
- ⑤ 俳句 一人10句以内
- ⑥ 川柳 一人10句以内
- ⑦ 狂俳 一人10句以内

## 2、応募上の注意

- ① 応募は、一人3種目以内と  
します。
- ② 用紙は、A4判の4000字  
詰原稿用紙とし、種目ごと  
に別紙を用いてください。  
ワープロなどの機器を使用  
する場合は、A4判白無地  
の用紙を横長に用い、20字  
×20行で印字してください。
- ③ 原稿は縦書きとし、文字は  
正確に読みやすく書いてく

ださい。

- ④ 原稿には、欄外に種目を記  
入してください。その他に  
氏名、号(必要に応じて)、  
年齢、住所(番地まで正確  
に)、郵便番号、電話番号  
を記入してください。なお、  
氏名および号には振り仮名  
をつけてください。
- ⑤ 応募原稿は返却しません。

## 3、応募資格

市内在住・在勤または一宮  
市芸術文化協会加入団体に所  
属している人

## 4、作品の採否

応募作品の採否については、  
編集委員が選者となり、編集  
委員会が決定します。

## 5、応募方法

〒493-8511 (住所記載不要)  
一宮市芸術文化協会事務局  
『いちのみや文芸』係(一宮  
市教育委員会 生涯学習課  
内)までお送りください。  
※締切:7月1日(月)必着。

## 6、発刊予定

平成25年10月19日(土)  
1冊800円(予定)

# いちのみや民俗芸能のつどい

入場  
無料

8月25日 日

正午～(予定)

会場:一宮市民会館

一宮民俗芸能連盟の加盟  
団体が市内各地に伝わる  
民俗芸能を上演します。



【出演予定団体】 石刀祭山車保存会、北方ばしょう踊保存会  
一宮真清伶人会、馬寄木遣音頭保存会、宮後住吉踊保存会  
島文楽保存会、機織唄保存会、馬場獅子屋形打囃子保存会  
瀬部山車・臼台祭保存会のみなさん



## 加入団体の紹介

### 一宮狂俳壇連盟(いちのみやきょうはいだんれんめい)

(狂俳部門)

「狂俳」は、尾張・美濃・三河を中心に、250年以上前から伝わる庶民文芸です。

安政年間に、伊勢の俳人「三浦櫛良」が農民や一般庶民の言葉遊びと、文字を覚える手立てとして編み出したものと言われ、天保年間に入り、岐阜の俳人「桑原東坡」が「狂俳」と名付け、濃尾地方の庶民文芸として広められました。

「狂俳」は、世界一短い定型詩で、主催者が出題する「冠付け」と言われる兼題に対し、題意を汲んで5字・7字、または7字・5字の12文字にまとめます。兼題は季題や艶事、時事問題、人情など、世事一般から出題され、文学的な高尚さのみでなく、自由奔放な発想で、機智に富んだ表現で作句します。

一宮市では、昭和40年代まで150人近くの狂俳愛好者が、活動されていましたが、高度経済成長期の文化活動の停滞と吟者の高齢化により、狂俳吟者も減少しています。

平成に入り、それまで活動していた「浅井吟社」と「葉栗吟社」を統合し、「一宮狂俳壇連盟」と命名、一宮市芸術文化協会の加盟団体として葉栗公民館を活動拠点に、毎月第2土曜日の午後1時から活動をしています。

あなたも、美しく多様な日本語の言葉遊びを通じ、伝統の庶民文芸を楽しみませんか。

後藤 富岳



◀ 一宮狂俳壇連盟懇親会にて

【問合せ先】山本 範子 ☎78-5002

## 加入団体の紹介

### 雅芳流嶋邦吟詠会(がほうりゅうとうほうぎんえいかい)

(吟剣詩舞部門)

私達の会は、昭和48年に結成され、今年で40年の歴史ある会です。雅芳流の本部は名古屋市にあり、現在、その活動は尾張地方だけではなく、三河地方にも広まっています。

詩吟とは、漢詩に節をつけて唄うものであり、私達は、日本の伝統芸道である吟道や精神文化の高揚に努め、地方文化の向上に寄与することを、目的としています。

毎年、尾西地区の「戦没者追悼式」に献吟し、秋に、尾西市民会館で開催されます「尾西芸能祭」でも発表しています。また、他の剣舞・詩舞団体との合同発表会や各種コンクールに出場し、日頃の成果を確かめ合っています。他に、小旅行なども計画し、和気あいあいの中、普段は尾西生涯学習センターにて、楽しく活動しています。

詩歌のほとんどは、自然の摂理、人生の真理といったもので、遠い昔に詠まれたものであっても、古さを感じさせません。それどころか、

現代を生きる我々の清涼剤として、喜怒哀楽のよき伴侶となる要素を持っています。結婚式から追悼詞まで、日本人の心を詠う芸道、身一つでどこでも吟じられます。また、姿勢を正し、腹の底から声を出すことによって、腹式呼吸となり、健康にもつながっていると実感しています。ご一緒に始めてみませんか。大歓迎です。



◀ 3月合同発表会にて

【問合せ先】木野 敏夫 ☎68-4069



民謡は、よく「心のふるさと」といわれます。これは、先人達が、日々の生活の中で、心の底から感じた生の喜びや悲しみなどを基にして、民謡が生み出されたからです。

民謡を作った人は、作詩家や作曲家といった方々ではなく、一般の人（民）です。そのため、唄の楽譜もなく、口から耳へという口伝えで、広まり、伝わってきました。中には、伝わっていくうちに全く違った唄になってしまったものも少なくありません。でもそこが、民謡の面白さのひとつでもあります。

さて、当会は、毎月第2、第4日曜日の夜、尾西生涯学習センターにて、和やかムードで練習しています。一緒に民謡を体験してみませんか。お待ちしております。

一宮市芸術祭参加事業の「尾西芸能祭」や、6月に御裳神社で開催される「尾西あじさいまつり」などには、何十年も参加しています。また、他

の民謡団体と交流したり、地域の寿学級と交歓したりして、「身心のふれあい」の場づくりをしています。

これからは、唄うだけでなく、他の団体の皆様と協力して、実りある発表会を目指し、また、先人たちが築いたこの民謡という文化を、次代へ伝承することも、私達の役目と心して、活動していこうと思います。



◀ 本番前の声だし風景

【問合せ先】加納 敦子 ☎62-3019

「土筆の会」は、今から11年前、市が主催した水彩画教室の受講生の中から、有志が集い、誕生しました。

講師の高山悟先生は、とても熱心に、優しく、そして楽しく、ご指導して下さいます。現在、私達は男性3名、女性13名の、50代から80代のメンバーで、毎月第1、第3火曜日に、一宮スポーツ文化センターで活動しています。メンバーには、初めて絵筆を持った人もいれば、公募展に出品する人もいます。

教室では、水彩、油絵、パステルなどで、人物画、静物画、風景画などに取り組み、和気あいの雰囲気の中で、互いに作品を見て、刺激を受けながら、楽しく描いています。

「土筆の会」では、1年に1度、制作意欲を高めるため、秋に作品展を催し、日頃の成果を発表しています。また、春には日帰りのスケッチ旅行に出かけ、それ以外にも、電車やバスを乗

り継いで、美術館めぐりに出かけたりもします。皆、大変熱心で、一宮市美術展にも出品しています。そして、私達は、何よりこの会で楽しく絵を描くことを、大切にしています。

皆、絵を描くことが、大好きな仲間達です。絵に興味のある方は、ぜひ一度、見学に来て下さい。私達「土筆の会」の輪を、もっと広げたいと思っています。



◀ 教室にて

【問合せ先】小川 義夫 ☎76-0613



「盛夏」 安藤 治仁

《市および市内公共施設の催し》

一宮市博物館

☎(46)3215

企画展「阿弥陀信仰と木曾川流域」

日時 6月15日(土)～7月28日(日)

午前9時30分～午後5時  
(入館は午後4時30分まで、  
月曜休館、月曜が休日の場  
合は翌日休館、以下同じ)

内容 木曾川流域にひろがった阿  
弥陀信仰について、中世か  
ら近世への流れを紹介しま  
す。

観覧料 一般 200円

高大生 100円

小中生 50円

※市内小中生・65歳以上無料

(企画展)2013 一宮美術作家

協会展「一宮写真協会展」も同  
様)

企画展「2013  
一宮美術作家協会展」

日時 8月31日(土)～9月16日(祝)

内容 一宮美術作家協会会員によ  
る最新の発想でイメージの  
思索を展開した絵画・平面  
彫塑・立体、デザイン、工  
芸の力作を展示します。

企画展「一宮写真協会展」

日時 9月19日(木)～29日(日)

内容 感性に裏打ちされた表現力  
で熱い思いを込めた作品を  
展示します。

三岸節子記念美術館

☎(63)2892

特別展「宮脇綾子展  
ーアブリケにつづる愛ー」

日時 6月15日(土)～7月28日(日)

午前9時～午後5時  
(入館は午後4時30分まで、  
月曜休館、月曜が休日の場  
合は翌日休館、以下同じ)

内容 古い布の切れ端を使ってア  
ブリケによる作品を作る宮  
脇綾子。様々な物をモチー  
フに展開された彼女の多彩  
な世界を紹介します。

観覧料 一般 600円

高大生 300円

小中生 150円

※市内小中生・65歳以上無料

「宮脇綾子展」関連事業  
美術館ギャラリートーク

日時 6月29日(土)・7月20日(土)

午後2時～3時

内容 担当学芸員が「宮脇綾子展」  
の見どころを解説します。

※要特別展観覧券・定刻に美術館  
2階ロビーに集合

尾西歴史民俗資料館

☎(62)9711

生誕120年記念  
特別展「市川房枝展」

日時 5月25日(土)～7月7日(日)

午前9時～午後5時  
(入館は午後4時30分まで、  
月曜休館)

内容 明治後期から大正にかけて、  
婦人運動家として活躍した  
一宮市明地出身である市川  
房枝の生涯を紹介します。

観覧料 無料

「市川房枝展」関連事業  
記念講演会

日時 6月16日(日)

午後1時30分～3時

演題 女のロマン 市川房枝

講師 林寛子氏(中日新聞東海本  
社編集局長)

※申込みは当日直接会場。公聴無  
料。

青年の家

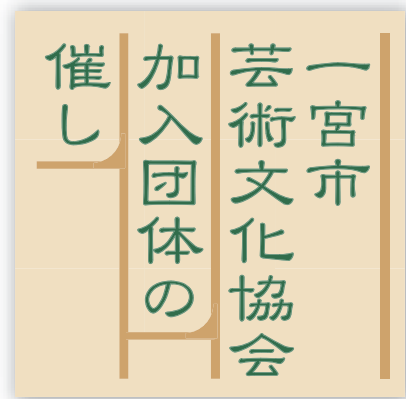
☎(73)2400

「サマーフェスティバル・盆踊り  
の夕べ」

日時 7月6日(土)・7日(日)

午後5時30分～8時30分  
(7日は8時まで)

内容 盆踊り、おもちゃ、飲み物  
の販売 ※参加無料



**『市民俳句教室』**

【問合せ先】一宮市民俳句教室

☎(73)5504

日時▼6月23日(日)・8月25日(日)

9月22日(日) 午後1時～

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼当季雑詠3句を一宮市民俳句教室委員が指導します。(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼当日直接会場

**『市民川柳教室』**

【問合せ先】一宮川柳社

☎(45)6951

日時▼6月23日(日)・7月28日(日)

8月25日(日)・9月22日(日)

午後1時～

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼自由吟および課題吟を一宮

川柳社委員が指導します。

(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼当日直接会場

**『一宮市民吹奏楽団レインボーコンサート2013』**

【問合せ先】一宮市民吹奏楽団

☎(44)9987

日時▼6月23日(日) 午後1時30分

～3時30分(開場は30分前)

会場▼一宮市民会館

内容▼「デイズニールランド50周年

セレブレーション」などを演奏します。

入場料▼500円 前売400円

**『水絵の会 スケッチ展』**

【問合せ先】水絵の会

☎(61)4702

日時▼6月25日(火)～30日(日)

午前9時～午後5時(30日

は午後3時30分まで)

会場▼尾西歴史民俗資料館

内容▼会員の静物画や風景画を展示します。

入場料▼無料

**『市民短歌教室』**

【問合せ先】真清短歌会

☎(62)4654

日時▼7月14日(日)・8月11日(日)

9月8日(日) 午後1時～

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼真清短歌会委員により実作指導します。(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼当日直接会場

**『100人展』**

【問合せ先】一宮写真協会

☎(76)3523

日時▼7月19日(金)～21日(日)

午前10時～午後5時(21日

は午後4時まで)

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼100人の会員の作品を展示します。

入場料▼無料

**『第33回こま希久会ゆかた会』**

【問合せ先】一宮舞踊協会

☎(45)5498

日時▼7月20日(土) 午後0時30分

～3時30分

会場▼アイプラザ一宮

内容▼日舞発表会

入場料▼無料

**『狂俳月例会』**

【問合せ先】一宮狂俳壇連盟

☎(51)2286

日時▼8月10日(土) 午前10時～

9月14日(土) 午後1時～

会場▼葉栗公民館

内容▼各自10句持参、互選により優秀作を記録に残します。(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼当日直接会場

**『黒岩山車保存会 川祭』**

【問合せ先】一宮民俗芸能連盟

☎(84)0013

日時▼8月3日(土) 午後7時～

会場▼石刀神社(浅井町黒岩)

内容▼わら舟を乗せた山車に提灯を飾りつけ、お囃子とともに練り歩きます。

**『島文楽保存会 虫干し』**

【問合せ先】一宮民俗芸能連盟

☎(84)0013

日時▼8月4日(日) 午前9時～

会場▼島村公民館(島村字岩畑)

内容▼市の有形民俗文化財である島村地区の文楽人形の虫干しをします。

**『瀬部山車・白台祭保存会白台祭』**

【問合せ先】一宮民俗芸能連盟

☎(84)0013

日時▼8月16日(金) 午後6時30分～

会場▼八剣社(瀬部字大門)

内容▼山車の上に提灯をかがけ、笛や太鼓のお囃子に合わせ、境内をねり歩きます。

# 一宮七夕まつり

7月25日(木)～28日(日)



## 『狂俳大会』

【問合せ先】一宮狂俳壇連盟

☎(51)2286

日時▼7月13日(土)

午後1時～4時

会場▼葉栗公民館

対象▼どなたでも

参加料▼無料

## 『第41回学生書道展・第20回書道連盟選抜作品展』

【問合せ先】一宮書道連盟

☎(51)0646

日時▼7月13日(土)・14日(日)

午前10時～午後4時(13日)

日は午後1時から)

会場▼一宮スポーツ文化センター

入場料▼無料

## 『納涼茶会』

【問合せ先】一宮茶道連盟

☎(72)2338

日時▼7月26日(金)～28日(日)

正午～午後5時

会場▼一宮スポーツ文化センター

呈茶券▼前売券 500円

当日券 550円

## 『一宮真清伶人会 舞楽奉納』

【問合せ先】一宮民俗芸能連盟

☎(84)0013

日時▼7月27日(土)

午後7時～8時

会場▼服織神社

(真清田神社境内)

観覧料▼無料

## 『短歌大会』

【問合せ先】真清短歌会

☎(62)4654

日時▼7月28日(日)

午後1時～4時30分

会場▼一宮スポーツ文化センター

対象▼どなたでも

参加料▼500円

## 『俳句大会』

【問合せ先】一宮俳句協会

☎(73)5504

日時▼7月28日(日)

午前11時～午後4時30分

会場▼一宮スポーツ文化センター

対象▼どなたでも

参加料▼800円

## 『七夕まつりコンサート』

【問合せ先】一宮市民吹奏楽団

☎(44)9987

日時▼7月28日(日)午後4時30分

～5時30分(予定)

会場▼真清田神社特設舞台

観覧料▼無料

## 『宮後住吉踊保存会 手踊り』

【問合せ先】一宮民俗芸能連盟

☎(84)0013

日時▼7月28日(日)午後6時30分

～7時(予定)

会場▼真清田神社特設舞台

観覧料▼無料



## 『加入団体の催し』欄に情報を掲載しませんか？

このコーナーでは一宮市芸術文化協会加入団体の活動情報を募集します。掲載を希望される団体は、発行月3・6・9・12月の前々月15日までに、下記の必要事項を任意の様式にて記入の上、事務局まで提出してください。

**必要事項** ①行事名 ②団体名 ③問合せ先電話番号 ④日時 ⑤会場 ⑥対象 ⑦参加料 ⑧申込方法 ⑨その他必要事項

**提出先** 〒493-8511 一宮市芸術文化協会事務局(住所不要) または FAX 0586-86-1809

【題 字】武 山 翠 屋  
【編集・発行】一宮市芸術文化協会

【連絡先】一宮市芸術文化協会事務局(市教育委員会生涯学習課内)  
〒493-8511 愛知県一宮市木曾川町内割田一の通り27番地  
TEL 0586-84-0013 / FAX 0586-86-1809